

石巻専修大学

石巻専修大学ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の
情報は
大学HPで。

シンガポール、米国で海外語学研修

本学では、語学学習や異文化体験を通じて国際感覚を養うための海外研修プログラムを展開している。

今年8月28日から9月11日の15日間、シンガポールと米国・サンタバーバラで「海外語学研修」が行われ、3人の学生が参加した。帰国した3人に、現地での学修や生活についてレポートを寄せてもらった。



①最終日にクラスメートと。前列左から2人目が武藤さん
②プレゼンする山岸さん(左)
③グラウンドキャニオンを訪れた齋藤さん

シンガポール

武藤優人さん(人間3・福島県福島東高)

初の海外経験となったシンガポールへの短期留学はとても充実したものでした。授業では先生は英語のみを使用し、テキストとプリントを使って学びました。私のクラスは少数で日本人が多かったため、安心して授業を受けることができました。英語でのプレゼンテーションは難しく、事前の準備にも力を入れて取り組みました。英単語をいかに多く覚えていくかが重要だと感じました。

休日は、市内観光も行いました。ホームステイ先やレストラン、お店などでも積極的に英語を使い、自然に英会話の力が身につくよう努力しました。2週間はあっという間でしたが、とても楽しく貴重な経験ができました。

シンガポール

山岸和美さん(人間3・福島県学法福島高)

私のクラスはグループやペアでの活動が中心で、伝言ゲームやクイズ形式の問題でウォーミングアップをした後、教科書とスライドを使って授業が行われました。先生の話すスピードやテンポよく進む授業についていくのが大変でした。

ホームステイ先では夕食時などに、普段のような生活を送っているのか、家族のことや行事などについて互いに話をしました。

今回の研修では、授業と日々の生活を通じてリスニング力が向上したと感じています。多様な出身地のクラスメートと放課後や休日にも行動を共にすることが多かったため、互いの国の文化の違いや共通点など、新たな発見が得られた有意義な留学となりました。

米国

齋藤慎悟さん(理工3・山形県上山明新館高)

日本で習うよりも実用的な単語や文法を学ぶ現地の授業は難しく、最初の3日間はほとんど発言できませんでした。それでも、家に帰ったら毎晩、会話に使えそうなフレーズを覚え、日本アニメの話などをききかけにたくさん友達と話をしました。

サンタバーバラは治安が良く、にぎやかな町です。学校のアクティビティーではグラウンドキャニオンなどにも行きました。周りのすべてが英語という環境に初めは戸惑いましたが、きれいな文法にこだわることなく、積極的に言葉を発し続けることで自然と英語力が伸びました。自分のことは自分で何とかする自立心が身についたことも今回の留学で得た収穫です。

川島・三木研究室が優勝



手作り自動車に乗り込む大槻さん

手作り自動車省燃費競技大会

理工学部機械工学科の川島純一研究室と三木寛之研究室の学生たちが、9月17日に宮城県運転免許センターで開かれた「第33回手作り自動車省燃費競技大会」に出場し、研究室的自動車「三木」の結果に終わった。

見事優勝を果たした。同大会は1秒のガソリンで何キロ走行できるかを競うエコランレース。中国出身の鄧業遠さん(4年次・三木研究室)は「優勝を目指して頑張ってきたので、願いがかなってうれしい」と話した。本学初の女性ドライバーを務めた大槻愛叶さん(1年次・宮城県仙台育英学園高)は「トラブルなく走破できたのは先輩たちのおかげ。来年も連覇したい」と力強く宣言した。

時間内に規定周回を走り切り、大学・高専専門で唯一、チェッカーフラッグを受けて優勝。コロナ禍で中止された2020年、21年を挟み、大会3連覇となった。

鈴木聖矢さん(理工3)

人材育成プログラムでスキル磨く

ICTソリューション 人材育成プログラム「サークルのテクノ・マインド ビス・イノベーション」(仙台市)が主催する「画コース」に、理工学部情報電子工学科3年次の鈴木聖矢さん(宮城県岩ヶ崎高)が参加した。同プログラムは8月22日〜26日の5日間、東北福祉大学仙台駅東口キャンパスで開かれ、宮城県、岩手県、山形県の大学や高等専門学校9校から学生16人が参加。地域課



他大学の学生らと共同で事業計画の作成に取り組む鈴木さん

挑戦を通じて、学生たちが中心となり、優勝とや改良に取り組んでいく目標に向け、夏期休みの半年間に及ぶ全力の経験を手にした。

最終日の成果発表会で、鈴木さんは堂々と発表し、質疑にも率先して対応した。5日間の活動を振り返り、「初対面のメンバーとのグループディスカッションは難しかったが、話をよく聞き、分からないことは理解できるまで質問し、考えを一致させながら進めることができた。今回の貴重な経験を就職活動や、社会人になってからも生かしていきたい」と話した。

気仙沼向洋高と協定締結

高大接続研究事業

本学は、宮城県気仙沼向洋高校と高大接続研究事業に関する協定を締結した。今回の協定により、高校生が本学の講義を受講する、本学教員を高校へ派遣するといった、両校の二校に沿った教育プログラムが展開される。



10月4日、本学で締結式が行われ、尾池守学長と同校の高橋英勝校長が協定書を交わした。

石鳳祭 4年ぶりの対面形式



秋晴れのなか、多くの来場者が訪れた

2022石鳳祭が10月8、9の両日に開催された。メインステージでは実行委員会考案のクイズ大会や音楽系サークルなどによるライブなどが実施された。台風と新型コロナの影響で、全企画が対面形式で行われるのは4年ぶり。多くの学生や地域住民らが来場し、石巻専大が生み出す祭りの熱気を楽しんだ。実行委員長の鳥井潤太さん(理工3・福島県福島西高)は「伝統を受け継ぎながらも、新しい石鳳祭を作ろうと実行委員全員で取り組んできた。来場した皆さんが楽しそうに過ごしている様子を見て、努力が報われた」と話した。



マクローの解体ショーで振る舞われた刺身に笑顔の学生



現代芸術研究会のライブ

オンライン受験相談会

開催日	予約受付期間
11/23(水・祝)	11/ 9 ~ 11/16
12/10(土)	11/25 ~ 12/ 2

【開催時間】10:00 ~ 14:00

Zoomを利用したオンライン形式で実施。各学科の学びや入試制度、学生生活や奨学金など、さまざまな質問に入試スタッフと学生が答える。詳細はQRコードから。

